

私は今回の授業を受けて、新聞は小学校社会科の授業において非常に有用な教材になると感じた。

まず新聞を活用することで、児童たちは現在の出来事や社会問題に触れる機会を得ることができると思った。新聞の特長の中に「信頼性」というものがあることを学んだが、新聞の情報は事実の裏付けをして掲載されているため、フェイクニュースが拡散される心配がない。

さらに新聞記事はリアルタイムで情報を提供しており、児童たちは地域や国内外の出来事について理解を深められると考えた。さまざまな視点や意見を含んでいるため生徒たちの社会的な視野を広げることにもできると思う。

また、新聞は授業内でのディスカッションや意見交換のきっかけになることができると思う。新聞の特長の1つに「保存性」があることを学んだ。自分が気になった記事を切り抜いておけるという利点があり、児童たちは自分が気になった記事から自分の意見を形成し、クラスメートと議論することで社会的な思考力だけでなくコミュニケーション能力までも発達させることができるのではないかと考える。

具体的には同じニュースでも新聞社によって読者への伝え方や筆者の視点というのは異なってくると思うので、いろんな新聞を読み比べてみてそれぞれの新聞の特徴を考察したり、いくつかの記事を読んでその記事の内容に関する理解を深めたりするという活動も面白いのではないかと考えた。

ほかにも、記事の中から自分の知っている言葉を探したり、新聞を使って工作をしたりと新聞はいろんな場面で役に立つと思うし、学年に応じて新聞の使い方はさまざまで、社会の授業だけでなく別の授業でも使いやすいものだと思うので便利だと感じた。

私は新聞に対して子どもたちは「文字が多くて難しいもの」というイメージがあると考えている。そのイメージを排除するためにも新聞は授業においても有用であると思うので積極的に使っていけばよいと思う。